

小・中・高等教育向けの最善の Mac 管理

仕事に合ったツールを選ぶ

Mac はその誕生以来、機械的なツールとして、小・中・高等学校が学生とスタッフに適切なリソースを提供するのに役立ってきました。Mac および利用可能な大量の Mac アプリは、教員とコンピューターラボの必須テクノロジーとして、小学校から高校卒業まで確実な成功を支援します。

現在は、かつてないほど多くの Mac コンピューターが学校に投入されており、Apple の適切な導入・管理・保全に対するニーズがかつてないほど高まっています。このホワイトペーパーは、どのように専用管理ソリューションが Apple 戦略の成功に不可欠かを検証します。







小・中・高等教育向け管理ソリューションの現状

デバイス管理のレガシービューは2つのクラスに分けられます。デスクトップとモバイルです。

デスクトップツールは、従来クライアント管理とみなされており、特にWindowsとMac管理用にデザインされています。一方、モバイルデバイス管理(MDM)またはエンタープライズモビリティ管理(EMM)は、iOSやAndroidの管理用に作られています。

業界で多くの人が取ってきた誤ったアプローチとは、すべてのモバイル管理とデスクトップ管理をひとつのソリューションに統合することです。これはよく、統一エンドポイント管理(UEM)と呼ばれます。

表面的には、魅力的に見えるかもしれませんが、共通点が欠けていることは即座に明らかになるので、組織がプラットフォーム間でサポートを試みるソリューションを使用するとすぐに問題が発生します。

						
プロビジョニング	Device Enrollment Program		Azure ADによるダイナミックプロビジョニング		構成ポリシー	Device Enrollment Programのようなものはなし
暗号化	FileVault	パスワードで有効化	BitLocker		クラウドストレージによる暗号化	最新デバイスではビルトイン暗号化、初期設定ではオフ
管理フレームワーク	Apple Push Notification ServiceによるMDM		Windows Push Notification ServiceによるSCCM + MDM	Windows Push Notification ServiceによるMDM	Chrome Management	Googleプッシュ通知によるMDM
設定管理	構成プロファイル		グループポリシーオブジェクト	構成ポリシー	Chromeポリシー	Android (旧 Android for Work)
ソフトウェアライセンス	Volume Purchase Program		Windows Store for Business		Chrome Web Store	Google Play Volume Purchase (米国&カナダのみ)

エコシステムレンズを通じた管理

Apple、Microsoft、Googleは、競争相手となる互いのプラットフォームが一つのソリューションで管理されることは意図していませんでした。各エコシステムには、少しだけ例を挙げると、それぞれ独自のデプロイ、オペレーティングシステムリリースサイクル、セキュリティ性能、全体デバイス管理の方法があります。このアプローチでは、今の時代の従業員が要求しているシームレスなテクノロジー体験をITは提供できなくなります。

各エコシステム専用の、最適ソリューションに変換することが、テクノロジーイニシアチブから最大限の利点を引き出す唯一の方法です。

APPLEに最適な管理

最初のデプロイから、ユーザ生産性を最大化するところまで、組織は、Appleプログラムの各ステージに応じた完全ライフサイクル管理ソリューションを必要とします。最善のソリューション特性セットには以下のようなものがあります：

1. デプロイメントとプロビジョニング
2. 設定管理
3. アプリ管理
4. インベントリ
5. セキュリティ
6. ユーザー権限委託

1. デプロイメントとプロビジョニング

Appleデバイスをユーザに構成する前に、デバイスは管理に登録されている必要があります。Jamfは、いくつかの登録オプションを提供しており、各組織に特有のニーズが確実に満たされるよう見届けます。

ゼロタッチ登録

理想的なデバイス登録方法は、Apple School Managerを使用した方法です。Apple School Manager は教育専用のウェブポータルで、IT 担当者には、人とコンテンツとデバイスを管理する権限が与えられます。このポータルはさらに、Apple のエンタープライズ導入プログラムであるDevice Enrollment Program (DEP) と Volume Purchase Program (VPP) を一元管理することにより、教育現場での導入作業を簡易化します。Apple School Manager により、自動登録が可能になるので、Apple デバイスをユーザーに発送することができ、最初に電源を入れた時には構成済みで、直ちに使用を開始できます。ITがハンズオンで仕事をする必要はもうありません。

ユーザ主導の登録

これは、ITが設定した特定のURLにユーザがアクセスして、デバイスの登録と構成を行う手動プロセスです。フィールドに管理されていないデバイスがある時や、デバイスを管理に再登録する必要がある時に役立ちます。

Apple Configurator Enrollment (iOS と tvOS のみ)

共有とカートデバイスのモデルやラボについては、IT 担当者

は、USB 経由で接続されているデバイスを無料の Mac アプリを利用してプロビジョニングすることで、登録プロセスを管理できます。そのデバイスはその後、IT 担当者からユーザーに手渡されます。

ユーザ承認MDM (UAMDM)

UAMDMは、macOS用管理の特別モードです； iOSやtvOS用の管理と似ています。この高度管理状態は、使用中のMacがITに管理されていることをユーザーが理解しているか確かめます。またこの状態はカーネル拡張などの機密セキュリティ設定の管理に必要です。Jamfでのデバイス登録方法にかかわらず、これらはUAMDMとなり、ユーザに、どのカーネル拡張がMacを実行し管理できるか承認する権限を与えます。さらなる管理設定には、UAMDMが必要となる可能性があります。

2. 設定管理

デバイスが登録されユーザーの手にわたると、次にITは成功に不可欠となるであろう適切なアクセス、設定、ソフトウェア、アプリユーザーで各デバイスを構成する必要があります。1台であれ1,000台であれ、この時再び、JamfがAppleデバイスをカスタマイズする方法をいくつか提供します。

構成プロファイル

これらの小さいXMLファイルをmacOS、iOSとtvOS用に設定を定義するために作成し配信することが可能です。Wi-Fi、VPN、Eメール設定を含めた例。これらのプロファイルは、Jamf内で構築され、管理済みデバイスに通信で配信されます。

ポリシー

macOS管理のユニークな点は、方針が構成プロファイルの範囲を超えていて、カスタムソフトウェアやプリンタインストール、ローカルユーザアカウント管理と高度管理ワークフローを可能にします。Appleに焦点をあてた管理ソリューションだけが、この拡張されたクライアント管理機能を提供できます。

スクリプト

方針の一部として、スクリプトが無限デバイス管理性能へのドアを開きます。コマンドラインを経由して端末で実行できることは、全てスクリプトに変わります。最適ソリューションは、スクリプトクリエイターが互いに共有したり接続したりできるコミュニティと併せて、組織が使用できるよう既存のスクリプトのライブラリを提供します。

スマートターゲティング

インベントリデータに基づき、Jamfは、ITが定義した条件を満たす特定のデバイスまたはグループに、デバイス管理性能を自動でトリガするスマートグループを作成するよう、ITを強化します。いわゆるUEMソリューションと異なり、SmartTargetingは動的で、エンドユーザがテクノロジー体験をパーソナライズするための重要な柱となります。

3. アプリ管理

iPad、iPhone、Apple TVデバイスに関しては、App Storeが、消費者がアプリをデバイスに入手するための唯一の方法です。Appleはデベロッパーのコードを確認し、セキュリティとパフォーマンスを保証します。しかしながら、Macに関して言うと、ソフトウェアはApp Storeの外で入手可能です。

Microsoft OfficeやAdobe Creative Suiteなど一般的なソフトウェアはApp Storeからは入手できません。しかし、Jamfは、カスタム.pkgや.dmgを構築することで、カスタムソフトウェアをデプロイする能力を提供します。そのようなソフトウェアパッケージは管理されたMacでデプロイ可能で、ユーザは管理者である必要はありません。

Appleは、それらのオペレーティングシステムに堅固なSDKと強力なデプロイツールを提供します。組織は、使用可能なネイティブAPIを使うことでビジネスの課題やワークフローを解決するための、カスタム組織内アプリを開発できます。加えて、組織は、AppleがIBM、SAP、Deloitte、GEと作った企業パートナーシップの利点を企業特定アプリソリューションのデプロイに活用することができます。

Appleデプロイ統合

JamfをApple School Managerと統合すれば、学校が一括でアプリの購入やライセンス化を行い、そのアプリをApple IDを使って個人に、または、Apple IDを使わないでデバイスに直接配信できます。必要に応じて、あとでアプリを再割り当てできます。

カスタムアプリ構成

もし単にアプリの購入とデプロイが十分でないとするれば、特定のユーザまたはユーザのグループに合わせてアプリを調整するため、アプリの設定を事前カスタマイズできます。例えば、サービス情報を使ったBoxアプリの事前構成、または、お使いのドメイン用の正しい情報を使ったSalesforceアプリの投入などです。Jamfは、IT管理者が、人気のあるビジネス

アプリ用にアプリ構成実例を探すことのできる、AppConfig.orgの創設メンバーです。

4. インベントリ

管理ソリューションは、ITが環境全体のはっきりとした見通しを持てるよう、大量のインベントリデータを収集し、デバイスのクエリを行う機能を備えています。これにより、デバイスが古いソフトウェアや無効となったセキュリティ設定を表示した場合に、情報に基づく決定が下されたかどうかを確認できます。シリアル番号、OSバージョン、インストール済みアプリなど含む、様々な区間のデバイスからインベントリを収集することができます。

Jamfは基本的なインベントリ収集にとどまらず、ITが特定のハードウェアやソフトウェアのアドオンに関するカスタムインベントリデータを見ることができるようになります。

スコーピングとターゲティング

ITはたいいてい、異なるユーザグループに異なる設定をデプロイします。例えば、マーケティングチームだけがPhotoshopを必要としていたり、財務チームだけがExcelを必要としている場合です。Jamfを通して収集されたインベントリで、ITは動的にデバイスに的を絞り、デバイスへの構成プロファイルと規制をデプロイできます。ニーズや要望に合わせて、二つのターゲティング方法が利用できます。静的グループとスマートグループ。

静的グループ

静的グループは、部門や階のように、定義されたデバイスのセットです。ITは管理方針をそのグループに適用することができます。

スマートグループ

スマートグループは動的で、インベントリデータに基づいて常に変化しています。これにより、ITがデバイスをグループ化し、構成プロファイルや規制を大きな条件セットに基づいてデプロイすることが可能になります。例：8GB RAM付き、フルハードデバイス80%、10.12.2またはそれ以降を実行している、Macを全て探す。

拡張属性

拡張属性により、コンピューターやモバイルデバイスから、さらにインベントリを収集することが可能になります。Jamf Nationにある拡張属性の無料ライブラリを活用することにより、IT管理者は、Code42インスタンス、バッテリーヘルス情報、インストールされたJavaバージョンなど、バックアップステータスのようなものを報告することができます。Jamf Proサーバーに拡張属性を追加すれば、可能性は限りなく広がります。

5. セキュリティ

Appleは、各デバイスで強力なネイティブセキュリティ性能を含みます。Jamfと組むことで、ITは、ハードウェア、アプリ、ネットワーク全体に、これらのセキュリティ性能が追加され、強化され、正しく機能していることを確認できます。追加のサードパーティーのソフトウェアや複雑性は必要ありません。

制限

Apple のオペレーティングシステムのすべての顧客特性が、教育環境向けに設計されているわけではありません。IT管理者は、セキュリティのニーズに基づき特定の性能を規制します。カメラを無効にしたり、iCloudをオフにしたり、System Preferenceへの変更を防止したり、特定のアプリをブラックリストに載せたりすることさえします。

ロック、ワイプ、再起動

デバイスが紛失、盗難、ウイルス感染に遭った場合、ITはJamfを活用して、デバイスをロック、ワイプ、再起動するようデバイスにコマンドを送ることができます。これは、継続中のトラッキングを通してプライバシーを脅かすことなく実行できます。

ソフトウェアのアップグレード

毎年、Appleは年ごとのmacOS、iOS、tvOSのリリースに合わせて新たな機能を発表します。これらのアップデートは、セキュリティと生産性を維持するために、デバイスにとってもユーザーにとっても大変重要です。つまり、管理ソリューションがAppleリリースサイクルでロックステップとなっていることが不可欠です。リリースが一般的に利用可能になる日(またはそれ以前)にAppleリリースをサポートし続けます。

パッチ管理

セキュリティブリーチは上昇しています。リスクを緩和するには、デバイスが最新のインストール済みソフトウェアで更新されていなければなりません。パッチ管理が鍵となります。Jamfは、macOSアップデートやプラットフォーム内に構築されたサードパーティアプリ用に自動化されたパッチアラートを使った唯一のソリューションです。Jamfにはパッチ通知、パッチパッケージング、パッチ配信、パッチ報告などが含まれており、ソフトウェアやデバイスセキュリティを当て推量で行う必要がなくなります。

アクティブディレクトリのバインディング

Jamfは、安全なユーザー認証やパスワードコンプライアンスのためにアクティブディレクトリのバインディングを自動化し

ます。しっかりとしたApple統合により、Jamfは、完全なユーザーセキュリティのためにローカルユーザーアカウントを管理できません。追加的な安全対策としては、ローカル管理アカウントパスワードが無作為に選ばれ、認証されていないアクセスの可能性が無効になります。

6. ユーザー権限委託

現代のスタッフや学生は、欲しいと思うリソースや必要としているリソースを待つようなことはもうありません。アプリインストール、プリンタインストール、ソフトウェアアップデート、メール設定に関わる際限ないヘルプデスクチケットの数を減らすために、ITは独自のアプリカタログを作成し、従業員が必要なものを必要な時に得られるようにします。

Jamf Self Serviceは、ユーザーが利用できるようにアセットやリソースをITが事前に投入することのできる、オンデマンドアプリであり、リソースカタログでもあります。ITに連絡することなく、ユーザーは簡単にSelf Serviceをナビゲートし、作業の間にダウンロードできます。

最も大切なこととして、最適ソリューションは、既存のイントラネットや他のHR/テクノロジーポータルにシームレスに統合するためのセルフサービスアプリをブランド化する機能を提供します。Jamfは、お客様にSelf Service内でアプリ、アイコン、名前、広告イメージをカスタマイズしていただきます。

第三者インテグレーション

Jamf Marketplace で提供しているような、サードパーティ統合を通してお客様のエコシステムを拡大し、さらに一層の強化を行います。IT チームとサービスをつなぐことで、学校とそのユーザーのために、統合された安全でシームレスな体験を創出します。例としては eSpark との統合があります。これにより、キュレートされた教育アプリコンテンツを基に、各学生に対して個別学習体験を提供します。

Appleサポート専用

Appleデバイス管理に専属的に注意を集中し、Jamfは、他の人をサポートする方々へのサポートにまわってきた約20年分の価値ある経験を役立てます。ITやそのエンドユーザーが課題に出くわすと、特化したJamfとApple専門家が、問題を解決できるまで対応します。戦略的イニシアチブから、緊急時の対応まで、他の管理ソリューションには、これほどまでに精通したApple体験を提供することはできません。

最適ソリューション: JAMFとMICROSOFTの統合

Apple は小・中・高等教育の環境において非常に重要な牽引力を得ている一方で、多くの学校が、ラボ内や教員用の Windows PC へのサポートを今も必要としています。これらの学校をサポートするため、Jamf は Microsoft の最高の Windows 管理ソリューションである Intune との統合を行い、プラットフォーム間での管理に伴う課題への答えを提供します。

この統合により、Azure Active Directoryで設定されたアプリケーションにアクセスするMac用の自動化コンプライアンス管理ソリューションを提供します。業界の唯一のプロキシフリーな条件アクセスを通して、このパートナーシップは、適合性のあるMacコンピュータで、承認されたアプリを使用している、信用性のあるユーザだけが、Office 365、他のクラウド、オンプレミスリソースにアクセスしていることを保証します。

MicrosoftはJamfが、Mac情報をIntuneに報告し、適合性のないデバイスを修正するための簡単な手順を提供しす。

JamfやIntune統合に関するさらに詳しい情報は、[ホワイトペーパー全文をご覧ください](#)。

SCCMを使用した共同管理

従来のWindows組織は、現代的なIntuneの管理理念に移る準備が整っていないので、JamfはMicrosoftのSystems Center Configuration Manager (SCCM)へのプラグインを提供します。これにより、環境内での全デバイスのための全体像がつかめる手掛りを提供し、Windows管理者はMacインベントリを閲覧したり共有することが可能になります。

統一化されていないエンドポイント管理の落とし穴に陥らないでください

このワンサイズが全てのアプローチに適合するというアプローチは、最善のオプションとは言えず、一つが上手くいけば他方は上手いかないという深刻な状況になり得ます。複数のプラットフォームツールは、ITの基本的なニーズと限られたインベントリ、デプロイ、セキュリティ性能に対応するのみである上に、タイムリーに各オペレーティングシステムに適切なサポートを提供することにも向いていません。

Jamfなら、IT管理者は、Apple管理のベストを知る者が構築したAppleのためのツールを持つことができ、その同じツールでWindows環境ともシームレスに統合を行うことができます。

1千万台以上のAppleデバイス管理のため、Jamfに信頼を寄せる15,000以上の組織に加わっていただければ、なぜ顧客の98%が毎年当社をご利用いただき続けているかご理解いただけます。無料トライアルで今すぐ最適特性をお試しく下さい。



www.jamf.com

© 2002-2018 Jamf, LLC. All rights reserved.
Created 11/2016. Modified 05/2018.

JamfのフリーテストドライブでAppleの成功をどのよう
に達成できるかご覧いただけます。[試用版の開始](#)